

思春期の死生観（その2）

——中学生と短期大学生のアンケート調査を通して——

林 昭 志

問 題

林（2000）は中学生を対象にアンケート調査を実施し、生活意欲、死に関する意識、社会や時代、自分についての項目を報告した。本研究は林（2000）のデータを再度分析したものである。

死と生という問題はだれにとっても重要なテーマであり、高齢期の方のみならず現代の中に生きるだれもが関係している問題である。特に最近では事件・事故・災害によって多くの尊い命が奪われている現実があり、あらゆる世代に身近に死が起こりうるという可能性を突きつけている。

死と生というテーマは、心理学のみならず医学、哲学、社会学、文化人類学など様々な分野が取り上げ、多様な立場から学際的にアプローチがなされている。

死に対する感情は暗いものだけではない。例えば、黒沢明監督の「夢」という映画の中では、死は「かなしい」ではなく「めでたいこと」として、「暗い」ことではなく「明るい」こととして描かれている。できることなら自分の最後の時を喜びたい祝いたいという心理はうなづける。

また、デーケンによれば我々は生きているうちに「死への準備教育」を受ける必要があり、死を考えることが人間的成長の糧となりうること、自分の生き方の自覚を促すことなど多くの意義が認められるという。

本研究では青年期初期、あるいは思春期のただなかにいる中学生、短期大学生を対象に生活意欲、死に関する意識、社会や時代・自分についてのアンケート調査の再分析を実施した。これによって現代の青年の意識を明らかにする。

方 法

○被験児 中学生103名。短大2年生24名。

表1 被験児の人数

	1年生	2年生	3年生	全 体	短 大	全 体
男子	14	20	17	51		51
女子	15	15	22	52	24	76
合計	29	35	39	103	24	127

○質問項目

菅沼（1997）の自己開示尺度から14項目を選び、生活意欲項目とした。これらは高齢期特有の発達状態を反映しているものであり、8つの領域がある。それらは①心身の健康、②経済的基盤、③社会的つながり、④生きる目的、⑤過去の再確認、⑥価値観の継承、⑦喜び、⑧願望である。①から④では高齢期の喪失体験、⑤⑥は過去経験の総括、⑦⑧は残された人生への肯定的な関心・態度を示す。

丹下（1999）の死に対する態度尺度から10項目を選び、部分的に修正して11項目を作成し、死に関する意識項目とした。それら態度尺度は、①死に対する恐怖、②生自体が重要であるという生を全うさせること、③死後の生活の存在の信念、④死が人生に対して肯定的に作用すること、などを含む。

さらに9項目を自作し、社会や時代、自分についての項目とした。

結果と考察

<生活意欲項目>

・体調面

1 体調が悪くて心配だ（わからないには無記入を含む。以下同様）

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	0	13	1	2	18	0	3	12	2	5	43	3			
女子	0	13	2	3	10	2	4	16	2	7	39	6	5	18	1

「いいえ」がほとんどで、若いから当然である。しかし体調の悪さを心配することは学年が進むにつれて微増している。学校生活のなかでの受験ストレスや勉強などが増すためではないか。

・金銭面

2 まとまったお金が欲しくて困っている

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	5	8	1	8	9	3	5	10	2	18	27	6			
女子	2	8	5	6	9	0	9	12	1	17	29	6	11	12	1

「いいえ」の方が多い。「はい」は欲しくて買いたいものがあるのか。上級生になるにつれて「はい」が増加する。

3 先々必要なお金のことを考えると不安だ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	2	11	1	7	12	1	1	12	4	10	35	6			
女子	2	9	4	6	9	0	8	12	2	16	30	6	17	5	2

「いいえ」が多いが、「はい」が上級生になるにつれて増加する。これは、学年が上がるにつれて、将来のことが近づいて、よくみえてくるため考え方が現実的になってきているからではないか。

・人間関係面

4 人づきあいで気まずいことがあり、気にかかる

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	1	10	3	3	17	0	4	10	3	8	37	6			
女子	5	9	1	5	9	1	5	14	3	15	32	5	6	13	5

全体的に「いいえ」が多いが、女子に多少「はい」が目立つ。

5 もっと知り合いを増やしたいが、良い方法がみつからず寂しい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	1	11	2	2	18	0	3	12	2	6	41	4			
女子	3	10	2	4	11	0	2	17	3	9	38	5	1	16	7

「いいえ」が多数である。女子の方が「はい」が少し多い。

・生き方

6 これからどのように生きていこうか悩んでいる

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	3	10	1	4	15	1	3	10	4	10	35	6			
女子	2	12	1	6	8	1	6	13	3	14	33	5	10	12	2

「いいえ」が多い。女子の方が「はい」が少し多い。

7 何か夢中になるものが欲しいがみつからなくて困っている

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	2	12	0	2	17	1	2	11	4	6	40	5			
女子	1	13	1	5	10	0	2	19	1	8	42	2	2	19	3

「いいえ」が多い。

・自分の生きた証

8 自分が生きてきた歴史を残しておきたい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	8	0	5	12	3	6	9	2	17	29	5			
女子	7	4	4	4	9	2	6	12	4	17	25	10	5	16	3

「いいえ」が多いが、「はい」も多い。学年や男女の差はほとんどない。

9 自分が忘れられない経験について振り返りたい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	3	10	1	3	15	2	2	12	3	8	37	6			
女子	2	8	5	4	11	0	8	11	3	14	30	8	5	15	4

「いいえ」が多い。「はい」は女子に目立つ。

10 今までの人生で得た信念を語りたい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	4	9	1	3	17	0	2	14	1	9	40	2			
女子	1	12	2	3	12	0	3	13	6	7	37	8	5	15	4

「いいえ」が多い。女子に「わからない」がやや目立つ。

・充実感・意欲

11 楽しいことがあってうきうきしている

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	4	5	5	5	15	0	3	12	2	12	32	7			
女子	7	4	4	5	9	1	9	11	2	21	24	7	10	10	4

「いいえ」が多い。とくに男子に「いいえ」が多い。

12 新しく見つけたことがあってうれしい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	4	8	2	2	17	1	1	16	0	7	41	3			
女子	3	8	4	3	11	1	4	15	3	10	34	8	11	11	2

「いいえ」が多い。「はい」が女子に若干多い。

13 新しく始めたいことがある

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	5	8	1	6	13	1	5	12	0	16	33	2			
女子	4	6	5	8	7	0	8	12	2	20	25	7	12	11	1

「いいえ」の方が多。い。「はい」は若干女子の方が多。い。

・出かけた。い

14 出かけた。い場所がある

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	7	6	1	10	9	1	11	6	0	28	21	2			
女子	14	1	0	12	1	2	18	3	1	44	5	3	20	3	1

これまでとは逆に、「はい」が多い。女子は圧倒的多数が「はい」である。男子は「いいえ」も多。い。

・生活意欲項目について

ここまでの生活意欲の質問では、男子に「いいえ」が多い。また、女子の方が「はい」「わからない」が多い。これらのことから女子の方が生活に前向きである一方

で悩みが多いといえる。男子の方が意欲的でなく淡々としているといえる。女子の方が発達が早いためか。3年生の方が「はい」が多い。このことは上級生になるにつれて、生活に意欲的になると同時に、将来の不安が増え悩みが多くなることを示している。

<死に関する意識項目>

・死と自分

15 死ぬと人々に忘れられるのがいやだ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	4	6	4	7	12	1	7	8	2	18	26	7			
女子	2	4	9	3	9	3	10	10	2	15	23	14	8	11	5

「いいえ」が若干多い。

16 人が死ぬと、自分の死について考えさせられるのがいやだ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	2	6	6	8	10	2	4	11	2	14	27	10			
女子	6	5	4	5	9	1	7	12	3	18	26	8	3	16	5

「いいえ」が多い。特に女子短大生は「いいえ」が多い。学年が進むにつれて「いいえ」が多くなる。

17 死によって自分の計画が未完成におわるのはいやだ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	4	8	2	11	8	1	6	9	2	21	25	5			
女子	8	1	6	6	9	0	8	12	2	22	22	8	6	15	3

「はい」と「いいえ」がほぼ同じ。女子短大生は「いいえ」が多い。

・命の大切さ

18 命より大切なものはない

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	8	5	1	10	7	3	5	9	3	23	21	7			
女子	9	2	4	10	4	1	9	10	3	28	16	8	10	10	4

「はい」が多いが、「いいえ」も多い。最近の少年事件を契機に「なぜ人を殺してはならないか」が話題になったが、この結果をみると中学生も女子短大生も「いいえ」が「はい」と同じくらいあり、命よりも大切なものがある、と考えていることがわかるのではないか。

19 たとえ小説の中でも人が死ぬ場面はいやだ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	1	11	2	5	15	0	5	11	1	11	37	3			
女子	3	9	3	6	6	3	6	14	2	15	29	8	10	11	3

「いいえ」が多い。上級生になると「はい」が多くなる。

・死後観

20 死後の世界はある

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	5	3	9	5	6	5	7	5	20	17	14			
女子	8	3	4	8	5	2	12	2	8	28	10	14	11	4	9

「はい」が多い。特に女子に「はい」が多い。「わからない」も多い。「いいえ」は少ない。天国や地獄などを信じているのだろうか。

21 人が死んでも魂は残る

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	5	3	9	6	5	5	9	3	20	20	11			
女子	3	5	7	5	7	3	9	4	9	17	16	19	11	3	10

前の20と似ている質問。やはり「はい」が多い。「はい」と「いいえ」が同じくらい。「わからない」も多い。

22 死んだ後は人はすばらしい場所へ行く

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	3	6	5	5	7	8	3	9	5	11	22	18			
女子	4	3	8	8	4	3	3	6	13	15	13	24	4	7	13

「わからない」が多い。男子に「いいえ」が多い。

・命の扱い

23 治る見込みのない病気ならば無理して延命したくない

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	3	9	2	10	10	0	5	10	2	18	29	4			
女子	3	6	6	5	8	2	9	8	5	17	22	13	16	5	3

「いいえ」が多い。中学女子に「わからない」が目立つ。女子短大生に「はい」が多い。

24 「安楽死」を権利として認めるべきだ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	5	6	3	9	7	4	4	6	7	18	19	14			
女子	2	5	8	6	4	5	9	5	8	17	14	21	13	4	7

「わからない」が多い（安楽死の意味がわからなかった可能性もある）。「はい」と「いいえ」がほぼ同じ。女子短大生に「はい」が多い。

25 たとえ脳死状態でも生き続けたい

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	1	10	3	7	11	2	1	11	5	9	32	10			
女子	2	8	5	3	8	4	1	14	7	6	30	16	2	17	5

「いいえ」が多い。脳死は「死」だからだろう。「わからない」も目立つ。

・＜死に関する意識項目＞について

死に関する意識は、前の生活意欲ほどは中学の学年の違いがないように思われる。むしろ中学全体と女子短大生の違いが現れている。たとえば女子短大生は死と自分の15、16、17でも、命の扱いの23、24、25でも死を受け入れ認める回答が多い。これらは死生観の発達的变化を示すものかもしれない。

死後観の20、21、22では女子短大生の方が中学全体よりも死後の世界があると回答している。この結果はどのようにみたらよいのだろうか。宗教的なものや占いや人間の知性の及ばない所のパワーを認める傾向があるのかもしれない。

<社会や時代・自分についての項目>

・時代

26 自分はよい時代に生まれたと思う

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	10	2	2	15	4	1	5	4	8	30	10	11			
女子	9	3	3	11	2	2	9	5	8	29	10	13	14	2	8

「はい」が非常に多い。ただし「わからない」もやや目立つ。

・事件

27 最近は怖い事件が多いと思う

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	9	4	1	14	5	1	11	5	1	34	14	3			
女子	10	4	1	13	2	0	20	2	0	43	8	1	21	1	2

「はい」が非常に多い。「わからない」が少ない。

・幼い時と比べて

28 今より幼い時の方が楽しかった

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	7	5	2	7	11	2	8	7	2	22	23	6			
女子	6	6	3	6	6	3	10	9	3	22	21	9	5	10	9

「はい」と「いいえ」が同数。「わからない」もやや目立つが、昔のことだから覚えていないから、かもしれない。

・日本の未来

29 日本の未来が心配だ

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	5	3	10	7	3	5	8	4	21	20	10			
女子	3	8	4	6	7	2	9	7	6	18	22	12	19	1	4

「はい」と「いいえ」が同数。女子短大生は「はい」が非常に多い。現実の社会に触れる機会が多くなり、考え方が現実的になるためか。

・幸せ

30 生きていて幸せだと思う

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	11	1	2	18	2	0	9	2	6	38	5	8			
女子	10	2	3	11	1	3	15	1	6	36	4	12	16	1	7

「はい」が非常に多い。「わからない」がやや目立つ。

・性格

31 明るい性格である

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	4	4	9	5	6	6	5	6	21	14	16			
女子	6	3	6	9	3	3	13	3	6	28	9	15	15	2	7

「はい」が多い。特に女子は「はい」が多い。「わからない」も多い。

・夢

32 大きな夢がある

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	7	1	8	10	2	12	5	0	26	22	3			
女子	7	4	4	8	5	2	14	7	1	29	16	7	13	8	3

「はい」が多い。特に女子に「はい」が多い。

・相談できる人

33 悩みを相談できる人がいる

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	6	3	5	9	5	6	6	9	2	21	17	13			
女子	13	0	2	11	1	3	20	2	0	44	3	5	20	1	3

「はい」が多い。特に女子では大多数が「はい」である。男子に「いいえ」や「わからない」が目立つ。

・高齢者との接点

34 高齢者とよく話をする

	1年生			2年生			3年生			中学全体			短大生		
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない
男子	2	10	2	3	14	3	2	12	3	7	36	8			
女子	6	7	2	6	6	3	8	10	4	20	23	9	13	9	2

若い世代なので当然だが、「いいえ」が多い。しかし、男子に「はい」が少なく、女子に「はい」が多い。

・＜社会や時代、自分についての項目＞について

この＜社会や時代、自分についての項目＞では、学年の違いよりも男女の違いが大

きかった。

社会や時代の見方については中学生と女子短大生の違いがみられた。日本の未来が心配かについては、中学生では「はい」と「いいえ」が同数であるが、女子短大生では「はい」が大多数である。ただし、最近は怖い事件が多い点で中学生も女子短大生も共通している。自分はよい時代に生まれたかについては、「はい」が多いが「いいえ」や「わからない」も目立つ。生きていて幸せだと思えるかについては、中学生も女子短大生も「はい」が大多数であるが、「わからない」がややあった。大きな夢があるかについては学年の違いがあり、3年生や女子短大生の方が「はい」が多かった。これは進路選択と関係してくると思われる。すなわち夢が高まるのは、最終学年で卒業が近づいたためであろう。

男女差は、社会や時代の見方(26、27、28、29)では特になかったが、自分の性格(31)、夢(32)、相談できる人(33)、高齢者との接点(34)ではみられた。男子の方が、自分の性格は明るくない、夢がない、悩みを相談できる人がいない、高齢者とよく話をしないと回答した。これは男子の方が言語能力が劣り、快活で社交的でなく、孤立しがちなことを示している。男子は女子よりも悩みをことばにしにくく、相談しにくいのである。このことは男子に対するケアの必要性を考え直させてくれる。男子には特にことばを必要としない相談の仕方が必要であるということである。さらに男子には自分をことばで話す実践的能力をつけさせていく必要があるということである。

<追跡的な調査(自由記述調査)の結果>

中学生に対し、14出かけた場所、18命より大切なもの、20死後の世界、29日本の未来、32大きな夢について、追跡的なアンケート調査を行った。(表2)

表2

これは前回に引き続いて中学生の生や死についての考え方を調査するものです。この用紙に氏名を書く必要はありません。以下の質問に答えてください。

自分が以下の質問にあてはまれば、それぞれの質問に具体的に答えてください。もしあてはまらなければ特に記入する必要はありません。また答えにくければ無理に記入する必要はありません。

性別——男・女（○をつけてください）

学年——1年・2年・3年（○をつけてください）

- 1 出かけた場所がありますか。それはどんな場所ですか。
- 2 命より大切なものはありますか。あればそれは何ですか。
- 3 死後の世界があると思いますか。あるとすればそれはどんな世界ですか。
- 4 日本の未来が心配ですか。心配だとすればどんな点ですか。
- 5 大きな夢がありますか。どんな夢ですか。

無記入や「ない」の回答がかなりあったが、それらは除き、以下では具体的な回答について扱う。もとの回答の平仮名や片仮名を漢字に直す、わかりやすいことばに直すなど、表現を変えた。

1 出かけた場所については先のアンケート調査では男女差がみられたものである。ここでは、各学年・男女ともに観光地（沖縄、北海道、海外など）、遊園地（ディズニーランド）、ショッピングセンターなど「楽しい場所」の回答が多かった。ただし男子には「ゲームセンター」などの他、「遠く」など抽象的な回答もあった。ここでも男女の違いがあることが伺える。

2 命より大切なものについては先の調査では学年差・男女差があまりみられなかったものである。ここでは「家族」「友達」「大切な人」が多かった。他には「家」「家庭」「好きな人」「母」「本」「自然や動物」「お金」「感情」「愛」「夢」「目的」「バスケットボール」などがあつた。

3 死後の世界について、「天国と地獄」「天国」がかなり多かった。「生前の態度で天国か、地獄へ行く」ということである。他には「人間は死んだら生まれ変わる」「子孫を見守る世界」「真っ白い所」「素敵な所」「望めば生まれ変わる」「川や天使がいる」「幸せな世界があってほしい」「黄泉の国」「7回は生まれ変わる」「自分の夢がかなう所」「楽できる所」「のんびりできる所」などがあった。「ないと思う」や「わからない」も多かったが、死んだら別の世界へいくと考えている中学生が多いことは、新興宗教に魅力を感じる青年が多いという最近の傾向と関係があるのかもしれない。

4 日本の未来については先の調査で中学生は「はい」と「いいえ」が半数に分かれた。ここでは「環境問題」「不況・不景気」「犯罪」が多かった。自然環境の汚染など「環境問題」の関心は高いと思われた。他に「税金が重い」「ゴミ問題」「経済」「政治」「北朝鮮のミサイル」「地球温暖化」「殺人事件」「高齢化」「財政悪化」「就職・リストラ」などがあった。

5 大きな夢について、女子は「結婚・およめさん」が多かった。他に「音楽家」「高齢者の役に立つ」「服のブランドを自分で新しく作り上げる」「雑誌ライター」「デザイナー」「イラストレーター」「なりたい仕事に就く」「美容師」「助産婦」「警察官になって白バイクに乗る」「水泳コーチ」などがあった。男子は「NBA（アメリカプロバスケットボール）のスーパースター」「プロ野球選手になって活躍する」「サッカーワールドカップ優勝」「アニメキャラクターを現実化させる」「大農園をひらく」「沢山のひとと出会う」「なりたい仕事に就く」「ゲームデザイナー」「人のために尽くす」「日本1周」「先生」「社長」などがあった。ここでは「大きな夢」という質問は漠然としていたかもしれないが、女子よりも男子の方が偉業を達成するという「夢」らしい「大きな夢」を回答し、女子は現実的で、実現の可能性の高い回答が多いという結果であった。

総 括

本研究は、林（2000）のデータに短大生のデータを加え、学年と性のクロス集計を行い、さらに、同じ被験児への追跡的な自由記述調査を行ったものである。本研究のねらいは思春期・青年期の死生観を捉えることであったが、同時に現代の青年の自分

や社会に対する意識を明らかにすることにもなった。今後も縦断的な研究を続けることで時代の変化とともに移り変わる青年の心理を捉えられるのではないだろうか。

文 献

菅沼真樹 1997 老年期の自己開示と自尊感情 教育心理学研究, 45, 378-387.

丹下智香子 1999 青年期における死に対する態度尺度の構成および妥当性・信頼性の検討 心理学研究, 70, 327-332.

黒澤 明 1990 夢—こんな夢をみた—ワーナー・ホームビデオ
ワーナー・ブロス社 (Warner Bros. Inc.)

林 昭志 2000 思春期の死生観——中学生の死生観の検討を通して——
上田女子短期大学児童文化研究所所報, 22号, 1-7.